

2024年

12月28日 京都

7

芝右外 1800m

サラ系3歳以上500万円以下

		5走前	4走前	3走前	2走前	前走	補正值	激	
1	フルレゾン	66		59	69	73	73	B	1
2	マハナ	58	64	59	69	68	68		2
3	エイシンジェンマ	66	72	74Y	73			Y	3
4	ダノンアトラス	51	54	66	66	70	70		4
5	バガン	70	62	60		70	70		5
6	ショウナンガチ	68	73	71	67	60	60		6
7	ウインフランチーズ								7
8	メイショウタクボク	65	68	65	55	62	61		8
9	キタサンダムール	73	54	64	72	67	67		9
10	アンジョルラス	47	65	73Z	62	72	72	CZ	10
11	グラヴィス	73	62	61	71	72	72	C	11
12	レイフロレット	63							12
13	ファーヴェント	74	74	70	75X	75	74	AX	13
14	オーリーボーレン	-5	72	70	57	71	71	E	14
15	ミッキーキャンパス			68	73Z	69	68	Z	15
16	アルバニー					63	63		16
17	サンウリエル	58	67	69	70	70	70		17
18	テックウハット	68	70	68	64	62	63		18

2024年

12月28日 京都

8

ダ右 1800m

サラ系3歳以上500万円以下

		5走前	4走前	3走前	2走前	前走	補正值	激	
1	ホウオウパロー口	44				68	68		1
2	ショーケン	32	65	60	71	65	64		2
3	テンエースワン	73	61	69	71	61	60		3
4	ペンナヴェローチェ	64	65	65	73g	72	72	Bg	4
5	ヴィアダクト	68	68	62	36	19	18		5
6	アドマイヤソラ	55	71	69	66	68	67		6
7	セブンスストリート	59	72	71	70	69	69	E	7
8	ジャスパワールド	59		24	54	75	75	A	8
9	スマートリアファル	68	71	71	60	64	64		9
10	アレンテージョ	74	74	70	70	72	71	D	10
11	タカサンフェイス	67	70	76Y	61	67	66	Y	11
12	エンブレムボム	58	42		62		62		12
13	アルゴナヴィス	62	48	58	78X	72	72	BX	13
14	ミントマーク	70	73	67	70	55	54		14
15	ラファミリア	69	52	45	54		54		15
16	アンバードール	67	76	72	76Y	68	68	Y	16
				-					

		5走前	4走前	3走前	2走前	前走	補正值	激	
1	シンゼンイズモ	75	65	76	72	64	63		1
2	サラサハウプリティ	71	56	69	50	68	68		2
3	レッドダンルース	66	62	72	77g	76	75	Dg	3
4	プロミシングスター	74	68	73	76	75	74	E	4
5	リジル	77	74	64	69	79	79	B	5
6	クリノキングマン	70	65	82X	72	51	50	X	6
7	モズナイスバディー	56	35	68	74	71	70		7
8	シャープソーン	73	64	11	72	66	66		8
9	エアメテオラ	77	22	79Y	72	56	55	Y	9
10	ニシキギミッチー	82	80	74	75	72	71		10
11	アガシ	64		72	74	70	70		11
12	アルシオーネ	72	71	70	72	86	85	A	12
13	エムズマインド	72	75	74	71	72	71		13
14	アンジュフィールド	70	57	74	63	77	77	C	14
15	リュクスウォリアー	71	43	58	49	48	47		15
16	ミスヨコハマ	71	73	67	78Z	70	70	Z	16

前走コメント

5 リジル

本来であれば1番人気に推されてもおかしくない実力馬。ここ2戦の凡走で人気を落としていたが、これで完全復活とみて良さそう

6 クリノキングマン

スタート直後から3頭併走で激しく競り合った。叩き2戦目で2番人気に推されていた所をみると、デキ自体は上向き傾向だったのかも？

12 アルシオーネ

中央未勝利馬。2番手追走から残り300で追い出すと後続を一瞬で突き放す一クラス上のパフォーマンス。6歳未勝利馬が何がどうなればこのような変わり身を見せるのか理解に苦しむ

14 アンジュフィールド

距離短縮でも同馬のペースは超ハイラップで、それでも踏ん張りぬける所がセールスポイント。ここ2戦は適性ではない距離を使われていたとしか言いようがない

16 ミスヨコハマ

躓いて出遅れるも流れは緩く、直ぐに追い上げることが出来た。しかしそこで軽くスイッチが入ってしまったために終わりも早かったが、それにしても潰れすぎ。先着の2頭はゴールまで力強い脚色のままだったが、同馬は完全にピークを過ぎた状態だった

2024年
フォーチュンカップ

12月28日 京都 10

芝右 2000m
サラ系3歳以上1000万円以下

		5走前	4走前	3走前	2走前	前走	補正值	激	
1	ジュンツバメガエシ	72	75	75	74	76	76	A	1
2	ボーンイングランデ		69	76Y	70	75	75	DY	2
3	シャドウソニック	74	71	74	60	64	64		3
4	ウン	74	66	72	65	70	70		4
5	マイネルビジョン	72	65	67	49	54	54		5
6	ハイディージェン	71	68	75	77X	53	53	X	6
7	ワレハウミノコ	75	76	69	64	61	61		7
8	リラポニート	71	74	76Y	75	76	76	AY	8
9	エバーハンティング	61	66	74	70	68	68		9
10	カレンマックナイト	57	57	68	66	66	66		10
11	コレオグラファー	70	73	50	76Y	70	70	Y	11
12	タガノバルコス	60	67	68	65	67	67		12
13	エンタングルメント	64	64	72	74	70	70		13
14	トーアライデン	70	65	67	63	64	64		14
15	ブリタニア	76	76	74	76Y	76	76	AY	15
16	ブエナオンダ	48	75	76Y	75	75	75	DY	16
				-					

前走コメント

10 カレンマックナイト

後方で鳴かず飛ばずの馬が逃げ馬ジョータルマエに張り付いて超ハイラップを刻ませた。勝ち負け度外視でハイペースを演出するがための騎乗にも思えた

		5走前	4走前	3走前	2走前	前走	補正值		激	
1	アルムブラーヴ	71	82	80	20	78	78			1
2	ハウオウルレット	78	80	88Y	84	90	89	CY		2
3	ミトノオー	91	90	85	60	83	82			3
4	ダンテバローズ	84	76		84	82	82			4
5	バハルダール	83	71	87g	84	87	86	Eg		5
6	フォーチュンテラー	70	80	77	73	83	82			6
7	ダンツキャッスル	87	85	74	61	66	65			7
8	ハピ		89	88Y	77	88	87	DY		8
9	タイセイドレフォン	85	80	77	61	85	84			9
10	フリームファクシ	84	81	84	86	93	92	A		10
11	デリカダ	82	76	83	89X	79	79	X		11
12	サンライズアリオン	83	82	87g	77	84	84	g		12
13	エクセスリターン	81	83	68	76	76	76			13
14	ジューンアヲニヨシ	85	77	78	78	79	78			14
15	ゴーゴーユタカ	78	80	81	75	68	68			15
16	サンデーファンデー	66	87	57	69	90	90	B		16

前走コメント

4 ダンテバローズ

3角過ぎからアウトレンジに張り付き、締め込んで行って勝ちに行く競馬をした。3勝クラスを勝ち上がったばかりで実力的にはまだまだだが、今回の記憶に残る競馬は先に繋がっていくように思う

5 バハルダール

ハイペースで淡々と流れ先行勢が息を入れる間を失くし追い込み有利の展開となった。展開利を受けての上位入線なので注意したい

8 ハピ

実力がありながらも、蓋を開けてみればデビューから3連勝のあとは未勝利。後ろから競馬をしたかと思えば前に行ったり、自分の形がないのが勝てない一つの原因かも

10 フリームファクシ

初ダート。中段追走からあっという間に抜け出して4馬身差をつける圧勝劇。1勝クラスを勝ち上がった時にはクラシック勝ちの可能性も見えた素質馬だが、ダート適性の方が高かったのか

12 サンライズアリオン

同じ先行勢の勝ち馬テオーレフォンの脚色と比べると、他は本当にオープン馬かと思えるレベル。内容の薄いレースだったと思える

16 サンデーファンデー

軽ハンデを好機と外枠から果敢にハナに立って、今日は非常に積極的な競馬にでた。直線で勝ち馬ロードアヴニールに交わされてからも盛り返すようにもうひと踏ん張りして見せ場を作った。

		5走前	4走前	3走前	2走前	前走	補正值	激	
1	オードリーバローズ	74	77	77	78	79	79	B	1
2	コナブラック	78	74	65	75	74	73		2
3	ジュノー	76	80	81Z	79	73	72	Z	3
4	タツダイヤモンド	79	80	71	77	78	77	D	4
5	アバンチュリエ	73	72	76	75	75	74		5
6	シカゴスティング	70	79	72	80	73	73		6
7	トレンディスター	62	74	76	56	55	55		7
8	ポエトリー	68	70	73	76	62	62		8
9	ピンクマクフィー	73	75	84X	70	76	76	X	9
10	ナリタローゼ	73	74	77	65	76	76		10
11	サウンドブライアン	75	79	74	74	66	65		11
12	ロードフォアエース	76	75	78	83Y	79	78	CY	12
13	フロムダスク	80	76	65	70	78	77	D	13
14	ウォータールグラン	70	70	60	69	72	72		14
15	ナムラアトム	75	79	70	77	74	73		15
16	アンクルクロス	74	70	75	81Z	83	82	AZ	16

前走コメント

7 トレンディスター

ハイペースが4角で緩み先頭まで5馬身圏内に縮まった。一旦緩んでしまったために、厳しいラップを刻んできた馬たちは再稼働する余力が残っておらず馬群に沈んだ

9 ピンクマクフィー

一瞬伸びそうな末脚を使ったが最後まで継続できなかった。休み明け以降は実績に見合わないレースが続いているが、少々上向き加減なのは確認できた

12 ロードフォアエース

雨で緩んできた内目を避けて3~4コーナーを周回。ダート適性が高く、力の要る芝も難無く熟せるパワーを持ち合わせるはずなので、馬場を気にせず突き進んだ勝ち馬ミルトクレイモーのように、もっと内を周回させる方が良かったように思う

16 アンクルクロス

一足先に抜け出した勝ち馬スリーアイランドに際どく迫った所がゴール。ファルコンS6着馬。このコースを得意にしている印象を受ける